



しみんけんきゅうニュース

発行:(公財)千里リサイクルプラザ 市民研究所 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園4-3
TEL 06-6877-5300 FAX 06-6876-0530 <http://www.senri-recycleplaza.or.jp/>

【目次】

- P2-3 エコイベント PT の取り組み
- P4 こども演奏会 10/27
- P5-6 ごみゼロウォーク開催・感想 11/9
- P7-8 第9回環境スクール開催・感想 9/21
- P9 第2回市民研究員研修講座
- P10 1・2月の予定



開会式
受付



市長のご挨拶
来賓の皆様



9:30 出発
(箱に抽選券を投入)



第18回万博ごみゼロウォーク開催 11月9日(土) 9:00~11:30

今年度より
外周コースから
半周・緑コースを
新設しました。



半周コース
(アサヒビール班)



学生ボランティア
による誘導



緑コース
(イオン班)



緑コース
(徳洲会班)



事業者さまより
ご提供の
パン・飲料を
閉会后、配布
しました。



緑コース
(山崎パン班)



緑コース帰路
(ボーイスカウト班)



ごみの回収・分別と
回収結果の発表



ごみゼロウォークに
ご参加いただき
ありがとうございました。
事業者さま・学生ボラン
ティアさま、ご協力
ありがとうございます。



『エコ・イベント』にする為の改善と『エコ・ステーション』

エコイベント PT 山田 勝典

1)吹田まつり 千里南会場にて

8月3日17時から千里南公園円形広場をメイン会場に開催されました。

昨年は台風の影響で16時に中止となりましたが、今年は猛暑の中での開催となりました。櫓を中心に多くの自治会関係の屋台が出店され、大変な賑わいでした。この中A・B2ヶ所の『エコ・ステーション』を設営し、それぞれ市民研究員1名、市役所関係者2名、自治会関係者4名が2交代で運営しました。スタッフは減量推進委員等で構成されていた為、運営もスムーズになされていました。祭りに来た市民からも分別は好意的に受け入れられ、好評の結果であったと感じます。今回は色々なイベントで問題としてきた、本部やスタッフの弁当も各部署で処理する事とした為ステーション前で分別スペースを占領される事もなかったです。やはり関係者の弁当柄や、出店者ごみは各々で処理する事でよりスムーズな『エコ・ステーション』運営ができると感じました。



2020年からは会場が『万博公園』内となる為、どのような手法での『エコ・イベント』が開催できるのかが一考となります。現状の『エコ・ステーション』の設営も必要とは考えられますが、1歩2歩進んでデポジットでの『リユース食器』の導入や記念カップの導入、更には『マイカップ』『マイ食器』持参による出来る限りのごみの出ない『エコ・イベント』開催を会場変更というこの機会に吹田市役所シティープロモーション推進部へ提案していこうと考えています。

2)古江台地区夏祭りにて

8月10日、11日の2日間 古江台小学校グラウンドに於いて17時~21時まで盆踊りをメインにした地区夏祭りが複数自治会共催で開催されました。多くの自治団体の屋台でたこ焼き・焼きそば・ビールに綿菓子や子どもたちの喜ぶ宝物つりのお店も出ていました。多くのお店が有れば多種のごみや廃棄物が出ました。スタッフはごみ減量推進委員さんが2交代で実施されました。今年の設定場所は逆Uの字形会場の片方1ヶ所の『エコ・ステーション』設置となっており ごみを持ってくる方が集中する時には大変な混雑となってしまうました。10数年の歴史もある夏祭りですので持って来て下さる方の大半は協力的ですがやはりあまりの混雑と数種類の分別に『面倒くさい』と顔に書いている方もちらほら。折角の広いスペースは有るわけですから両端2ヶ所もしくは真ん中へ大きな『エコ・ステーション』設置が有効ではと考えます。

エコ・ステーション設置のポイントとしては

- ① スタッフの確保
- ② 分別の種類
- ③ 周知の方法(放送やチラシへの記載)
- ④ ステーションの数と場所

上記が重要なポイントとなります。



eco イベントのすすめ ～イベントのごみゼロ大作戦～



五月が丘地区夏まつり

楽しいイベントの後にはごみの山。こんな経験はありませんか？私たちは、イベントで出るごみを減らす活動「イベントのごみゼロ大作戦」を2002年から続けています。ごみの減量をしながら、大人も子どもも環境を考えるきっかけになることを目指しています。

さあ、皆さんも環境にやさしいエコイベントに取り組んでみましょう！

イベントのごみゼロ大作戦とは？

- ① ごみの減量・地球温暖化防止・資源の節約のために、イベントから出るごみを3Rの方法で減量する取り組みです。
- ② イベントの参加者自身が、ごみの分別を行う環境学習の場を提供します。

イベントには多くの市民が参加するので、ごみ減量の啓発活動としても大変大きな意義があります。

■五月が丘地区夏まつり



廃棄物減量等推進員 9名、小学校・中学校P

TA13名他合計27名が、4交代制でごみ回収ステーションのスタッフで取り組みました。

今年も表面のフィルムをはがすと簡単にリサイクルできるエコトレイを福祉委員会が使用した。中学校おやじの会はかき氷に小椀のリユース食器を1,000個使用しました。

子どもから大人までみな協力的で、分別が毎年良くなっているという感想をいただいた。

■蔵出しワインバー in 大阪



山梨日日新聞社主催の全店舗でリユース器を使用するイベント。コーディネータースタッフの依頼があり、今年で活動3年目。今年は6月の大阪市中之島中央公会堂月と11月の大阪フードラボ（中津）で年2回取り組みました。リユース食器7300個と5880個貸出しました。

活動内容：ごみステーションの設置運営、リユース食器の貸出、回収、管理など。

■実践講座（廃棄物減量等推進員全体会）



環境政策室主催の廃棄物減量等推進員の研修会で、7月31日と8月3日の2回実施され、合計135名の参加があった。熱心に聞いていただき、質問も多く出て実践講座の大切さを再認識しました。

くるくるハロウィン 子ども演奏会 西山田小学校

市民とお店をエコでつなぐ PT 打越 明美

019年10月27日(日)11時30分～

お待ちかねの西山田小学校のジュニアバンドクラブの演奏が始まりました。

司会、進行も子どもたちがします。

曲目 ♪グリーングリーン

♪ヤングマン

秋空の下、空色のTシャツ。

さわやかな風に乗って軽快なリズムが流れ、からだ自然に動きます。



<クラブの紹介>

学校創立以来、クラブが結成され約40年の歴史があるそうです。西日本大会にも出場されたことがあるそうです。

クラブ員は4年生から6年生で36名。

そのうち、今日は26名が演奏しています。

練習は火曜日から金曜日の授業が始まる前の朝15分くらいと土曜日に行っているそうです。

今日の演奏会を支えているのは、顧問の先生と保護者(13人)が汗をかきながら準備をしておられました。

トランペット、アルトホルンなどの管楽器とパーカッションの響き。こころ安らぐ、ひとときをすごしました。

各ブースでは

★ハロウィンの仮装をしてきた子どもたちにお菓子のつかみどり。

★リユース衣料の詰め放題

★フリーマーケット

10時開場前に60名～70名の人の列ができて開場するなり、たちまち大勢の人で混雑してきました。

★体験コーナー

布、木工、紙すき、陶芸絵付け、ガラス工芸、レザークラフト、手づくりおもちゃ、裂き織など。

★原始力(人力)発電コーナー

自転車のペダルを踏めば、ライトが点滅して発電を知らせます。



広場では

○木のおもちゃで遊ぼう(木育コーナー)

木工工房で作られた木の玩具を親子が楽しく遊んでいました。

○環境すごろく

小学生と幼児の姉妹が大きいサイコロを振ってすごろく盤を飛び跳ねていました。

(問題は少し難しそうでした)

○さつき福祉会による軽食の販売

仮装したプラザの職員や子ども達で、広場はいつもと少し違うユーモラスで華やかなムードでいっぱいでした。

第18回万博ごみゼロウォークに参加して

手作りおもちゃと環境 PT 綿谷 一

令和元年11月9日(土) くるくるプラザにて「第18回万博ごみゼロウォーク」が開催されました。

秋の爽やかな良い天气に恵まれ、9時15分に開会式を行った。市長、実行委員長、議員の方々の挨拶の後、ごみゼロウォークを出発した。

参加団体32団体、参加人数 大人341人、子ども63人 合計404人が参加していただき、ウォーキングコース20班、ファミリーコース1班に分かれ9時30分～11時00分まで実施した。



<開会式の写真>

私は1班の世話人として、アサヒビールの皆さま方21人の先達としてのぼりを持ち、ゴミ回収の案内を行った。

今年からウォーキングコースが変更になり、ウォーキングマップを片手に案内した。

ファミリーコースを歩く児童はシールラリーを行い、ポイントごとに用意したシールを台紙に貼り、生徒・児童はクイズラリーポイント5箇所ですクイズを行い、解答用紙に記入ながらウォークした。帰ってきて、各々景品の配布があった。



<ごみ回収の状況>

我々1班は缶2個、ペットボトル5個、燃焼ごみ8袋を回収した。

持ち帰った全体の収集ごみの分類を行った結果缶129個、ビン34個、ペットボトル215個、燃焼ごみ83袋(60Kg)であった。回収したゴミは年々減少しているが、今年は昨年に比べ少し多かった。



<ごみ回収の集計>

全員けがなく無事に到着後、ゴミ回収結果の発表、副実行委員長の挨拶など閉会式を行った。出発前に抽選券を抽選箱に入れた結果がごみゼロウォーク帰着すると、発表になっていて、個々に当選品を持ち帰った。

このイベントは全国的に珍しく、来年も続けていくとのことで、私も参加していくつもりです。



万博ごみゼロウォーク参加者感想

イオン吹田チアーズクラブさんから

●私は、昨年も「ごみゼロウォーク」に参加しましたが、今年は場所が変わったのもあって、あまりごみが拾えませんでした。でもやっぱりプラスチックのごみが目立っていて、自分たちみたいな人が頑張っている、ごみを捨ててしまう人はいるんだと、少し残念に思いました。でも、私たちの頑張りを知って、捨てる人が減ればいいなと思いました。

●ごみがいっぱいありました。ひっつき虫がいっぱいついていておもしろかったです。さいしょはごみはいっぱいないと思っていたけど、いっぱいあってポイすしている人が多いことがわかりました。

●全てのルートを回っていないのに、たくさんのごみがあってびっくりしました。地球の環境を守るために、ごみを拾うという行いが大切だと感じました。道にごみが落ちていない世界を作りたいです。

●地球かんきょうとしての、活動内ようは良くて、ごみゼロウォークのやくわりは、いいと思いました。また、次回も活動は自主勉などに、使用していこうと思うくらい、良い活動でした。ありがとうございました。

●ぼくは、ごみを見た時、すごく悪いと思いました。自然がたいせつだとは、思っていないのだと思いました。もしみんなが大切にしたら、ごみもへると思いました。

●今日は、ごみゼロウォークで歩くと、すぐにごみが見つかるくらいごみが落ちていました。その後にクイズラリーもしました。そして、へいかい式をして、その後ちゅうせんもしました。ごみがたくさんあったので、一人一人がポイすてをしないように気をつけられ、ごみもへると思いました。だからぼくも気をつけたいと思います。

株式会社タクマさんから

○参加して感じたことは、万博記念公園は今回の清掃を実施する前でもごみが少なく、常に公園を清潔に保つ気持ちを地域の方々、使用者が持っているのだと感じることができました。一般的に万博記念公園のような敷地面積が大きな公園であると、どうしてもごみが多く捨てられる箇所が点在しているものだと想像していましたが、実際には違って、ごみを探さないといけないくらいに少なかったことに非常に感心しました。

また今回の「万博ごみゼロウォーク」に参加している小学生、中学生が一生懸命にごみ拾いをしていることにも非常に感心しました。

しかし、一部ですが事業系のごみと思われる金属ごみが木陰に隠すように捨てられているのを発見しました。ここに捨てても気づかれないだろう、別に問題ないだろうといったモラルがない人もいるのだと感じました。そのようなモラルがない人に対する呼びかけという意味でも、この「万博ごみゼロウォーク」を実施する役割があるのだと思います。今後も引き続き「万博

ごみゼロウォーク」を開催することで、モラルがない人の心を変化させるよう実施してください。

○今回初めて参加させて頂いたのですが、参加人数の多さに驚きました。また、ごみ拾い最中に他の住民からイベント内容について聞かれ「来年はぜひ参加します」とお声掛けされたときは、市民の環境意識の高さに感銘を受けました。来年度の是非とも参加させて頂きたいです。

○私は16班でしたので、市立吹田サッカースタジアム周辺を担当しました。パッと見はごみが少なかったのですが、急斜面などの簡単に入りにくい場所には、ビニール袋や缶、ペットボトルなどが相当量捨てられていました。手が届く範囲で拾ったのですが、かなりのごみが残置されたままとなってしまいました。今回のごみゼロウォークの範囲外の場所だったようですが、残置されたごみも撤去できるやり方があればよいと考えています。

○晴天に恵まれ万博公園での緑の多い爽やかな空気の中を歩き、体もリフレッシュできました。閉会時に今回集めたごみ量について、ペットボトルの量が昨年に比べて増えていたとの話があり、またプラスチックごみによる海洋汚染などの問題も取り上げられ、「ポイ捨てはしてはいけない」ということを再認識しました。

*紙面の都合で掲載できませんが、上記以外に次のような感想をいただきました。

○あまりごみが落ちていない状況なので、街中での開催も検討されてはどうかと思います。安全面の確保が難しいかもしれませんが。

○環境のことについて知る機会も増え、自分の子どもが大きくなったら一緒に参加したいと思いました。

○我々としてもこのような取組みを手本に様々なことに挑戦していきたいと思います。

○ごみを拾うだけでなく、ウォーキングによる日々の運動不足の解消及び万博付近の緑豊かな情景を楽しむことができました。

○参加者の皆様が、後ろ向きな気持ちを一切抱かず、楽しみながら積極的にごみを拾っている光景がみられ、楽しみながら、ごみに対する考え、意識を高めることができる素晴らしいイベントだと総じて思いました。



第9回くるくる環境スクール参加記

エコ体験 PT 生野 俊介

9月21日（土）にくるくる環境スクールの閉校式と交流会がプラザ講義室で開催されました。スクール生は当初14名でしたが当日の参加者は9名に留まりました。

最初に事務局から本年度の環境スクールを総括して、体験を通して環境のことを理解してもらうことをコンセプトに講座を進めてきた。環境に対して危機感と興味を持つことが行動につながる、そのために市民研究員としてキャリア作りをして欲しい旨の話がありました。

その後30分/回を2回、受講生が変わる形で各PTとの交流が行われました。PTでの活動内容の説明や活動での苦労話、やり甲斐、楽しさなどなど日頃の経験をスクール生に説明し、スクール生からは疑問点などが寄せられていました。自分のPTでの対応に終始していたため他のPTでどんな話が行われたのかは明確ではありませんが、エコ体験PTでは学習支援内容の説明や子ども達の前で説明することの緊張感や工夫などなどを縷々説明し、学習支援は適度な緊張感があり、かつ大きな声で喋る機会にもなることを力説しました。最初はかなりの緊張感がありますが慣れることで徐々に面白さが増してくるし、教材を工夫して子ども達に最新の環境問題を伝えることも自分自身の勉強になることもお話をしました。皆さんそれなりに興味は持っていただけようです。

この後、思い出のアルバムが放映され、暫し感傷に浸った後、スクール生からの6ヶ月間の体験の感想が述べられました。皆さんの感想を少々記してみます。

- ・ 人との巡り会いがあったことが良かった。
- ・ 体験することでより理解が深まった。
- ・ 一人一人がやっていくことが必要で、自分も自分なりのペースで進めていきたい。
- ・ 種々の意味での環境問題が認識できた。
- ・ プラザの、市民が市民を啓発する活動は素晴らしい、一方で行政とのつながりが不明。

- ・ プラザは初めてだったが、各PTの活動を知って収穫だった。
- ・ 知らないことだらけだった。自分でできることを考えて生活していきたい。
- ・ 自分、家族、地域でできることを進めていきたい。

といった大変収穫のあった半年と感じられたようでした。

この後受講生一人ひとりに受講修了書の授与がなされ、最後に土屋研究所長から挨拶がありました。要約すると、こういった形での集まり（くるくる環境スクールのこと）は必要。言ってみれば「曖昧な形」での集まりで、市民研究員の意見で作ったもの。環境意識が高い人ばかりでなく、ごく一般的な生活レベルを考える人たちへの教育がどうしても必要な時期になっている。変えていくべきことをやっていく、伝えていく、少しでも工夫する、といった思いを持つ人たちが繋がって世の中が変わって行く。今後のご活躍を期待したい。と締めくくられました。

事務局の話、スクール生の感想、土屋所長の話で奇しくも共通的なことは、身の回りの環境のことを自分のこととして考え、行動することが強調されていたことのように感じます。昨今のニュースで、各国の若者が地球温暖化に関し発言し、行動を起こしていると伝えられています。環境に対する一般市民の関心の低さが政府の環境への無策を生んでいる、と考えればこの若者たちの行動は何かを変えるかもしれません。私たちもせめて身の回りの環境に興味や危機感を持ち行動していくことが必要だということをもっと発信していきたいものです。

「我が亡き後に洪水よ来れ」という人間の無責任さを表す言葉は歳が長じるほど心に入り込みやすい様です（朝日新聞天声人語）

以上

感想・くるくる環境スクールを終了して

●各講座とも堅苦しいところはなく、親しみやすい雰囲気にしていただいたのが、よかったと思います。今までほとんど知らなかったくるくるプラザの内容や市民研究員の活動について知ることができたのも私にとって大きい収穫でした。里山見学、木工体験も楽しく、環境問題を考える助けにもなりました。プロジェクトチーム活動体験については、時間をもう少し取っていただいてもよかったですのではと感じました。演習が含まれていたものは内容もわかりやすかったのですが、話だけでは具体的な活動内容がとらえにくいところもありました。

●環境と云う言葉に含められる幅広い範囲での現状や改善に対する取組を知れた。多面的な情報をもっと多く発信してもらいたい。

●説明が判り易くて良かったです。参加させて頂き、教えてもらえた事を知人、友人にも伝えたいと思います。ありがとうございました。

●現在まで気にもしていなかった生活習慣が変化しなければ、又、自分だけの問題として考えていく事と他の人々にも少しでも知っていただく方法とか、学ばせていただきました。大変考えさせる問題として私自身大いに役立ちました。ありがとうございました。

●くるくる環境スクールの前に他の環境問題に取り組んでいるスクールで講座を受けさせて頂いておりました。比較して感じる事は、くるくる環境スクールで学ぶ内容は、プロジェクトチームへの参加を志向した内容で、一見地味に感じますが、一人一人の生活現状に沿った講座であると思います。これは実は重要で身近な事から少しずつではあるが、拡げていくという着実なステップを踏まれていると思いました。気になるところは、取り上げる内容が身近で地味で

ある事から大きなテーマや活動を期待されている方からは、物足りなさを感じてしまうかもしれません。

●環境とゴミの処理についてより知りたくなった。

●具体的な活動内容が多く、大変参考になりました。運営にもう少し工夫が必要な感じがします。時間配分など～参加メンバーとの関係づくりをしたいと思います。

●啓発活動の難しさを感じます。

●くるくる環境スクールで勉強させて頂きありがとうございました。大阪ガスさんのエコクッキング、ビオトープ、里山の黒川地区訪問、ダスキンの工場見学、大量廃棄問題講演会 など、感心したり、感動したり、知らなかったことだらけで、恥ずかしくも思いました。私は、8月10日のチーム紹介を欠席しましたので、24日のプロジェクトチームのお話を聞かせて頂きました。それぞれに活躍されていて、感動しました。環境問題にもっともっと関心を持って、今自分に出来ることは何か、毎日の生活の中に、その課題は山ほどあるように思いました。小さな努力でも継続は力なり、コツコツやっっていこうと思います。



第2回市民研究員研修講座「海のごみ拾い」に参加しました

市民とお店をエコでつなぐPT 福田 規子

令和元年10月6日(日) 第2回研究員研修講座「海のごみ拾い」が西舞子海岸で開催されました。

7時50分、阪急梅田駅に集合。朝が早く、ちょっと大変でしたが総勢17名(小幡副所長、事務局2名、市民研究員13名、「くるくるプラザ」の編集員1名)は、神戸本線特急に乗車しました。

新開地で山陽特急に乗り換え、さらに山陽須磨で普通に乗り換えて9時過ぎに西舞子に到着です。秋の爽やかな空気に潮の香りが入り混じって、すっかり遠足気分。

本日の講師である兵庫県立神戸商業高校教諭の石川正樹氏と、海のごみを減らしたいと6年前から月に1度の割合で、地元自治会と協働で西舞子海岸での漂着ごみ回収を実践している同校理科学研究部の学生さん6名と合流し、用意していただいたごみ袋を手に海岸へ。そこは小さな漁港のようで小舟が2艘ばかり係留されていたり、ボートが何艘も岸に引き上げられていました。

9時30分清掃開始です。普段はそんなにごみは多くないそうですが、波消しブロックの隙間などにペットボトルが挟まっていたり、プラごみが絡まっていたりして、かなり腰を屈めないと拾うことが出来なくて、ごみバサミがあれば・・・と反省するも遅し。

砂浜で目立ったのは、発砲スチロールの白いかけらです。船のブイなのでしょうか? 白い大きな俵型の発砲スチロール4、5個が、波が来るたびに船や岸壁にぶつかっているのです。あれが砕けて・・・と、気になりました。

10時、清掃終了。ごみを集めると、燃えるごみ12袋、ペットボトル8袋、缶と瓶が1袋でした。



外国産のペットボトルが1本見つかりました。

10時30分 生徒さんの研究結果の発表と、石川先生のレクチャーを受けました。

- ・ 収集したペットボトルは、ほとんど日本の物で、外国製は、中国、韓国、台湾など4%くらい。ここは内海なので外海から漂着する頻度は少ない。
- ・ 昨年の台風21号の後は浜がごみで埋め尽くされた。(写真を見てそのすごさに驚く)
- ・ 海に流れ出たごみの16%ほどは海底に沈むと考えられ、これが問題のマイクロプラスチックとなる。
- ・ マイクロプラスチックの簡単な検出実験をやってみる。

砂浜に50cm四方の囲いをつくり、その中を深さ5cmまで掘る。掘り出した砂は水の入った容器に入れてかき回す。小さいごみが浮いてきたら細かい網で掬い取る。この作業を数回繰り返し、集めたごみを分析するのだが、時間がないので目視するだけだったが、白い発砲スチロールの細かい破片が多数確認出来た。

マイクロプラスチックとは5mm以下の小さなプラスチック破片で、海の中を浮遊して海洋生物の体内に入り込むことが問題になっているのです。



11時30分 終了、解散。早速新鮮なネタの握りずしのランチ。しかもリーズナブルで大満足でした。

市民研究所 1 月の予定

日	曜	催し	時間・場所	備考
1	水			
2	木	年始休業		
3	金			
4	土			
5	日			
6	月	休館日		
7	火			
8	水			
9	木			
10	金			
11	土	第10回代表者会 第3回市民研修員研修講座 (講師 土屋正春所長)	10:00~11:30 プラザ講義室1 13:30~15:30 プラザ講義室2	主担・代表者・事務局
12	日			
13	月	成人の日		
14	火	休館日		
15	水			
16	木			
17	金	環境学習支援	14:15~15:15 東山田小学校	エコ体験PT
18	土			
19	日			
20	月	休館日 環境学習支援 環境学習支援	14:45~15:45 千里第二小学校 14:50~15:50 豊津第一小学校	手作りおもちゃと環境PT エコ体験PT
21	火			
22	水	環境学習支援	13:30~14:30 佐井寺小学校	手作りおもちゃと環境PT
23	木			
24	金			
25	土			
26	日			
27	月	休館日 環境学習支援 環境学習支援 環境学習支援	14:40~15:25 高野台小学校 14:35~15:35 藤白台小学校 14:40~15:25 千里第一小学校	手作りおもちゃと環境PT エコ体験PT 市民とお店をエコでつなぐPT
28	火			
29	水	環境学習支援 環境学習支援	13:30~14:30 千里丘北小学校 14:20~15:20 吹田第一小学校	エコ体験PT 市民とお店をエコでつなぐPT
30	木			
31	金			

市民研究所 2 月の予定

日	曜	催し	時間・場所	備考
1	土	環境学習発表会 環境学習展示発表会	12:30~15:00 プラザマルチホール 9:00~16:30 プラザマルチホール	すいた環境教育フェスタ 10:30~15:30 ●
2	日	環境学習展示発表会	9:00~16:30 プラザマルチホール	●
3	月	休館日		
4	火	環境学習展示発表会	9:00~16:30 プラザマルチホール	●
5	水	環境学習展示発表会	9:00~16:30 プラザマルチホール	●
6	木	環境学習展示発表会	9:00~16:30 プラザマルチホール	●
7	金	環境学習展示発表会 環境学習支援	9:00~15:00 プラザマルチホール 14:15~15:15 東山田小学校	● エコ体験PT
8	土	第11回代表者会	13:15~15:00 プラザ講義室1	主担・代表者・事務局
9	日	休館日		電気点検の為
10	月	休館日 環境学習支援 環境学習支援 環境学習支援	14:45~15:45 千里第二小学校 14:40~15:25 高野台小学校 14:35~15:35 藤白台小学校	手作りおもちゃと環境PT 市民とお店をエコでつなぐPT エコ体験PT
11	火	建国記念日		
12	水			
13	木			
14	金			
15	土			
16	日	STOP地球温暖化~くるくるアースフェスタ~ エキスポシティ光の広場10:00~16:00		●
17	月	休館日		
18	火	環境学習発表会協議会	16:00~17:00 教育委員会	事務局
19	水	環境学習支援	13:30~14:30 佐井寺小学校	手作りおもちゃと環境PT
20	木			
21	金	第5回研究運営委員会	14:00~16:00 立命館大学	主担・執行役員事務局
22	土			
23	日	天皇誕生日		
24	月	休館日		
25	火	環境学習支援	14:50~15:50 豊津第一小学校	エコ体験PT
26	水	環境学習支援 環境学習支援	13:30~14:30 千里丘北小学校 14:20~15:20 吹田第一小学校	エコ体験PT 市民とお店をエコでつなぐPT
27	木			
28	金			
29	土			

□は、資源リサイクルセンター(くるくるプラザ)の休館日です。●は、一般の方も参加できます。詳しくはプラザまで。

※予定は、変更する場合があります。